

● 授業構想・改善シートの活用手順

1. 授業構想シートで、「指導案作成上の重点ポイント」を確認する。
2. 「指導案作成上の重点ポイント」を意識して、指導案を作成する。
3. 授業実践
4. 授業改善シートで、評価を行い、次回の実践に生かす。

※本シートは、事前・事後の授業研究会等で、他の教員とも共有する。

**外国語活動 英語「平成31年度の重点」授業構想シート**

<b>外国語活動 英語</b>	<b>本県の課題</b>	<b>目指す子供の姿</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国語で、自分の本当の気持ちや考えを伝え合う言語活動が展開されていない場面がある。</li> <li>◆英語を得意とする生徒と、不得意とする生徒の二極化がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語を通して主体的に人と関わったり、人と関わることの大切さを感じとったりしている。</li> <li>○英語の学習に対して意欲的に取り組むとともに、コミュニケーションの手段として英語を活用することができる。</li> </ul>
	<p><b>①言語活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇コミュニケーションの目的や場面、状況などの設定を工夫し、児童生徒が自分の思いや考えを伝え合う言語活動の充実を目指す。</li> <li>◇中学校では、伝え合う内容を重視した言語活動を繰り返すことを通して、学習事項の定着を図る。</li> </ul> <p><b>②「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童生徒が「できること」を実感できるような評価方法を工夫するとともに、小中高を通じて一貫したCAN-DO型学習到達目標を設定し、児童生徒と目標を共有することを通して、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>◇中学校では、教科書の内容等を効果的に扱い、技能統合型の活動を工夫しながら、年間を通して4技能のバランスのとれた育成を図る。</li> </ul>	

**指導案作成上の重点ポイント**

<b>1 言語活動の充実</b>
①コミュニケーションの目的や場面、状況等の設定を工夫し、児童生徒が自分の思いや考えを伝え合うことができる活動とする。(小・中)
②実際のコミュニケーションの場面で活用することを通して、文法事項の定着を図る。(中)
<b>2 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成</b>
①本単元でつきたい力を明確にし、児童生徒と共有することを通して、指導と評価の一体化を図る。(小・中)
②教科書の内容等を効果的に扱い、技能統合型の活動を工夫する。(中)
③内容を重視した言語活動を繰り返し、学習事項の定着を図る。(中)
④年間を通して、4技能のバランスのとれた育成を図る。(中)

# 外国語活動 英語「平成31年度の重点」授業改善シート

## 本県の課題

- ◆外国語で、自分の本当の気持ちや考えを伝え合う言語活動が展開されていない場面がある。
- ◆英語を得意とする生徒と、不得意とする生徒の二極化がみられる。

## 目指す子供の姿

- 外国語を通して主体的に人と関わったり、人と関わることの大切さを感じとったりしている。
- 英語の学習に対して意欲的に取り組むとともに、コミュニケーションの手段として英語を活用することができる。

外国語活動  
英語

### ①言語活動の充実

- ◇コミュニケーションの目的や場面、状況などの設定を工夫し、児童生徒が自分の思いや考えを伝え合う言語活動の充実を目指す。
- ◇中学校では、伝え合う内容を重視した言語活動を繰り返すことを通して、学習事項の定着を図る。

### ②「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成

- ◇児童生徒が「できること」を実感できるような評価方法を工夫するとともに、小中高を通じて一貫したCAN-DO型学習到達目標を設定し、児童生徒と目標を共有することを通して、指導と評価の一体化を図る。
- ◇中学校では、教科書の内容等を効果的に扱い、技能統合型の活動を工夫しながら、年間を通して4技能のバランスのとれた育成を図る。

月 日 ( )	学校	年 組	授業者
単元名			記入者

## 1 言語活動の充実

①コミュニケーションの目的や場面、状況等の設定を工夫し、児童生徒が自分の思いや考えを伝え合う活動となっている。(小・中)	4 - 3 - 2 - 1
②実際のコミュニケーションの場面で活用することを通して、文法事項の定着を図っている。(中)	4 - 3 - 2 - 1

## 2 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成

①本単元でつきたい力を明確にし、児童生徒と共有することを通して、指導と評価の一体化を図っている。(小・中)	4 - 3 - 2 - 1
②教科書の内容等を効果的に扱い、技能統合型の活動を工夫している。(中)	4 - 3 - 2 - 1
③内容を重視した言語活動を繰り返し、学習事項の定着を図っている。(中)	4 - 3 - 2 - 1
④年間を通して、4技能のバランスのとれた育成を図っている。(中)	4 - 3 - 2 - 1

[成果と課題]

(4…よくできた, 3…できた, 2…もう少し, 1…できなかった)